

102 受容を示す掌のポーズ

《ロザリオの聖母》・《聖マタイの召命》

2024

真鍋友範

1 ロザリオの聖母

さて、まずは、《ロザリオの聖母》での聖ドメニコ僧の両手のポーズを見よう。



このポーズは、ロザリオの聖母が、右手で示したポーズへの聖ドメニコ僧の反応だ。

聖母は命じた。『イエスの導きを、あなた（聖ドメニコ僧）が民衆に伝えなさい。』

まずは親指を、幼な子イエスに向け、次に人差し指を聖ドメニコ僧に向けた場面だ。

このロザリオの聖母への回答動作が、この聖ドメニコ僧の【両手の掌を見せる

ポーズ】だ。

カラヴァッジョは、この作品を描いた数年前に、《聖マタイの召命》を描いている。

2 聖マタイの召命

では、《聖マタイの召命》を見よう。



髭男は、イエスに質問する。『お探しの方は、私ですか、それとも、隣のメガネの人ですか』と、親指を自身の胸に向け、続けて人差し指を隣のメガネの人にに向けた。

質問を受けたイエスは、【左手の掌を見せ】、その質問を受け入れるポーズを、髭男に対して示したのだ。

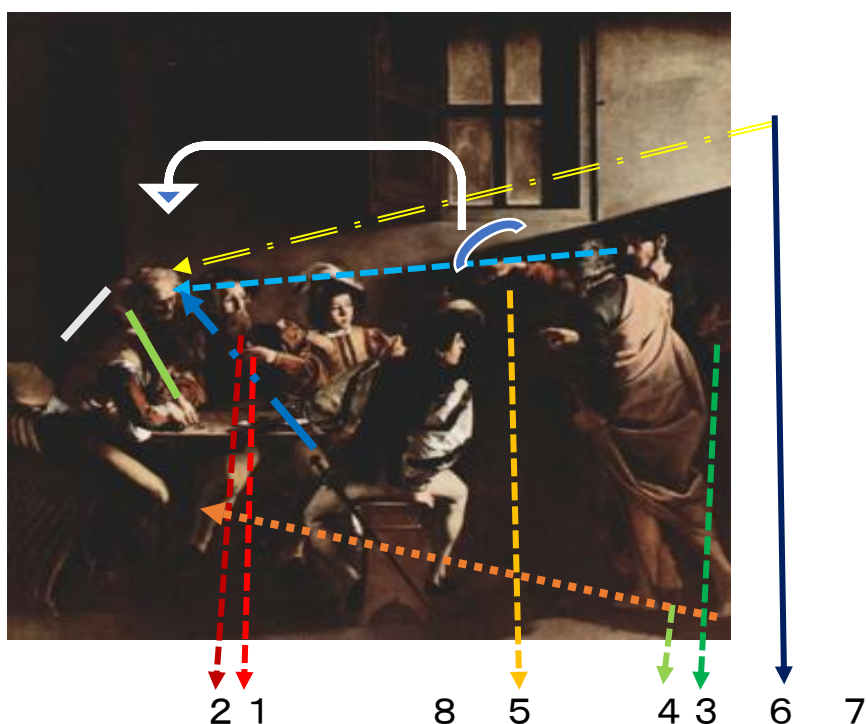
3 掌を見せるポーズとは、

イタリアでは、受容を表現するポーズだ。しかし、この相手に掌を見せるポーズは、西欧や日本含め、世界で普通に通用するポーズだろう。

カラヴァッジョ絵画でも、この【掌を見せる動作】は、絵画内容を正確に知る上で、欠かせない動作であり、見逃してはいけない重要な要素なのだ。

補足：

《聖マタイの召命》 真実のストーリー



- 1) 親指を胸に当てる髭男の動作「私をお探しですか」(連続動作・前半)
- 2) 人差し指の動作「それとも、隣のメガネの収税人ですか」(連続動作・後半)
- 3) イエスは、左手を広げて質問に返答する「答えよう」
- 4) 右足の一步左側への位置移動
 >>>その意味は、【メガネの収税人の顔が見える位置への視点移動】
 【決して、召命も終えることなく、イエスが帰ろうとしているのではない。】
- 5) イエスの右腕・手首の回転動作
 【手首より先に力無し・指差し動作では無い】
 *イエスの右手は、メガネ男の顔付近で回転を停止している。(普遍的動作)

(ライトブルーの線)

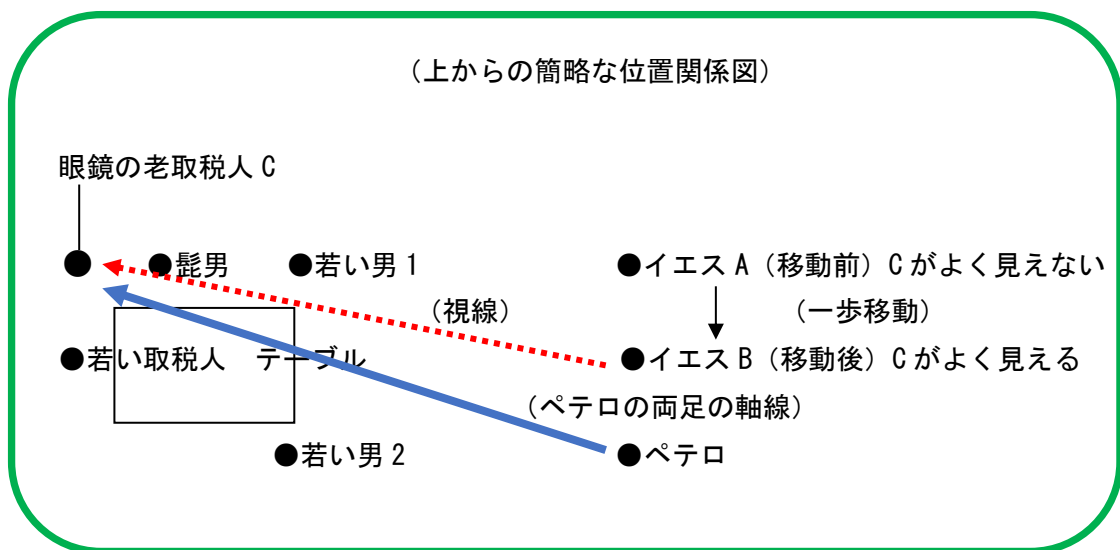
参考6) 右高窓から、父なる神からの一条の導きの点光が侵入する。(イエロー点線)

参考7) ペテロの両足の軸線は、メガネの収税人の足元に向かっていている。(オレンジ点線)

参考8) 背を向けて腰掛けている男の腰の剣の軸線は、メガネの収税人の光点に向かっている。(ブルー点線)

イエスに呼ばれたマタイは、(右手を机に突いて寄りかかった姿勢から)立ち上がり、イエスに従ったのだ。(注：マタイ福音書に、マタイは、椅子から立ち上がったとは記述されていない。)

*あなたも眼鏡の収税史と同じ、45度に背中を傾けた傾斜維持姿勢(ライトグレー)を真似て、長時間同じ姿勢を維持しようとする、100パーセント右手を机に突いた姿勢になる。(ライトグリーン)



* 質問する髭男の【向こう側】にいる人物は、ただ一人。
召命対象者は、眼鏡の老収税人だ。